



# Cisco Vision Dynamic Signage Director のコンテンツのガイドラインと仕様

コンテンツをインポートする前に次のことを確認してください。

- コンテンツが正しい形式である
- コンテンツのサイズが適切である
- コンテンツが表示される場所に合わせて正しい大きさになっている

コンテンツが配置されるリージョンに適したサイズでない場合には、イメージが切り取られたり、リージョン内に空のスペースが残ったりします。

## コンテンツの大きさ

イメージのコンテンツの大きさは、イメージが全画面モードで再生されるか、または複数のリージョンを持つ画面テンプレートの中の1つのリージョンで再生されるかによって異なります。

- 全画面モードで表示される場合、イメージはグラフィック画面の解像度と一致する必要があります。  
全画面 HD/SD モード: 1920x1080 (すべての DMP で最大をサポート)
- コンテンツが複数のリージョンを持つ画面テンプレートの中の1つのリージョンに表示される場合は、イメージの大きさをその特定のリージョンの大きさに合わせます。

**注:** CV-UHD および SV-4K では、Dynamic Signage Director のどのテンプレートを使用する場合でも、プライマリ ビデオリージョンを使用して 4K ビデオを Ultra HD 解像度 (3840x2160) で表示することができます。詳細については、「[4K ビデオコンテンツの制限 \(54 ページ\)](#)」を参照してください。

## コンテンツの向き

Cisco Vision Dynamic Signage Director のすべてのコンテンツについて、デフォルトの向きは横方向モードです。

## 縦方向モードの自動回転

**注:** ここでの「自動回転」とは、コンテンツが TV ディスプレイの物理的な方向と一緒に自動的に回転すること (携帯端末での画面の動作など) を意味するものではなく、DMP によってコンテンツが回転して 1080x1920 の向きで表示されることを意味します。TV における通常の横方向の設置位置から見た場合、縦方向モードのコンテンツを適切に表示するには、TV を 90 度 (時計回りに) 回転させる必要があります。

縦方向モードの自動回転では、次のガイドラインに従って DMP ですべてのコンテンツが自動的に回転し、縦方向に設置されたディスプレイ上で正しい向きになります。

- 1 台の TV ディスプレイについてすべてのコンテンツ ソースをサポートします。

## コンテンツの向き

- マルチキャスト ストリーミング ビデオのみの場合は、複数のディスプレイ画面にわたるコンテンツのスケールリングをサポートします。
- コントロールパネルで TV ディスプレイの仕様を設定するときに「dmp.Portrait」ディスプレイ パラメータを使用して有効にします。

注:縦方向モードでビデオを使用しているときは、フル HD の解像度を超えてビデオをスケールリングしないでください。理想的には、4K 以外のビデオでは、画面のリージョンを基準とするビデオの縦横比を一致させる必要があります。

## DMP コンテンツの柔軟な回転

リリース 6.0 では縦方向のコンテンツ表示が導入されました。この機能拡張によって、コンテンツを 90 度および -90 度 (+270 度)回転できるようになりました。この機能は、ビデオ、静的イメージ、ウィジェット、ローカルおよびマルチキャストビデオ、外部 URL といったすべてのコンテンツで有効です。すでにディスプレイ モニタが縦方向に設置されている場合に目的の方法でコンテンツを表示するには、コンテンツを回転させます。

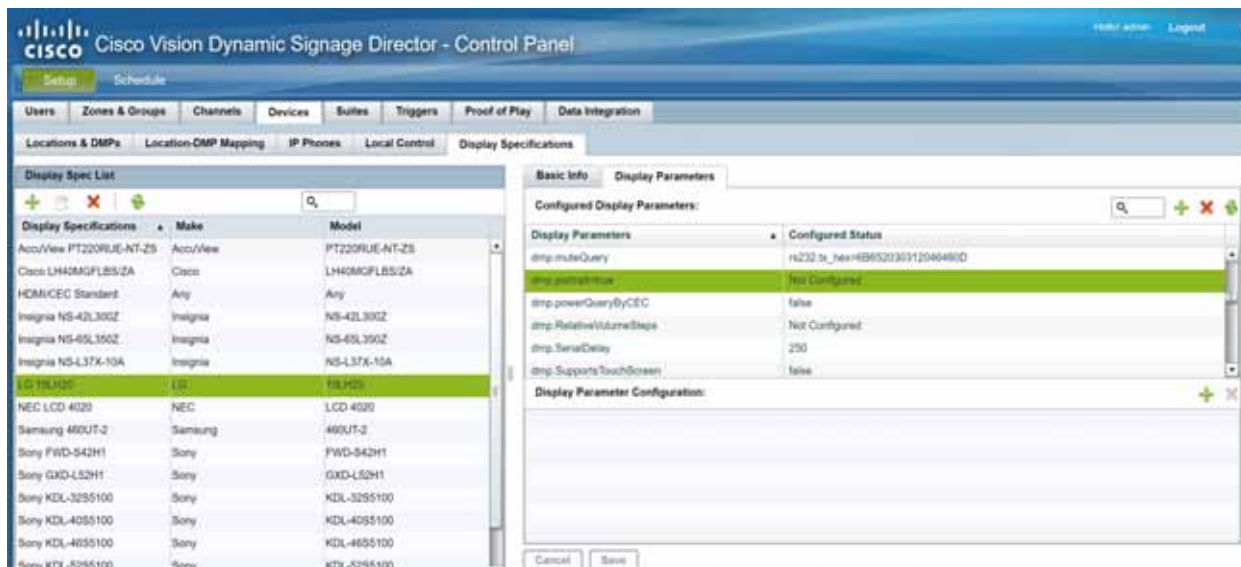
## コンテンツを回転させる方法:

1. [Tools] > [Control Panel] > [Setup] > [Devices] > [Display Specifications] に移動します。
2. 左側のパネルのリストから特定のディスプレイを選択し、右側のパネルの [Display Parameters] タブをクリックします。
3. dmp.portrait または dmp.portrait.clockwise という表示パラメータを追加して「true」に設定し、必要とする適切な回転値を得ます( [図 1 \(52 ページ\)](#)を参照 )。

注:デフォルトでは、dmp.portrait を使用してコンテンツに「true」を設定すると、コンテンツは 90 度回転します。dmp.portrait.clockwise を「False」に設定すると、コンテンツは 270 度(-90 度)回転します。

4. このパラメータを設定した後、DMP を再起動します。[Tools] > [Management Dashboard] > [DMP and TV Controls] > [DMP Commands] > [Reboot Device] に移動します。

図 1 表示パラメータへのコンテンツ回転値の追加



[図 2 \(53 ページ\)](#)は、90 度および -90 度回転させたコンテンツを示す図です。時計回りと反時計回りを使用します。90 と -90 のみ使用できます。

## コンテンツのスケールリング

注: 縦方向モードでビデオを使用しているときは、フル HD の解像度を超過してビデオをスケールリングしないでください。理想的には、4K 以外のビデオでは、画面のリージョンを基準とするビデオの縦横比を一致させる必要があります。

図 2 90 度と 270 度、コンテンツの回転

時計回り

反時計回り



## コンテンツのスケールリング

「スケールリング」とは、次の 2 つのことに対応することです。

- コンテンツを拡大すること。
- マルチ画面ビデオウォールで、ディスプレイごとにコンテンツの一部のみを表示すること。

注: コンテンツのスケールリングは、マルチキャストビデオとローカルビデオで動作するほか、静的グラフィックス、外部 URL でも動作します。

注: 大きなコンテンツはスケールダウンして正しい縦横比を保ってください。イメージまたはウィジェットの解像度がリージョンより小さい場合、コンテンツの解像度はスケールアップされません。

必要な設定はありません。これは単に Cisco Vision Director に追加された機能です。ビデオウォールでは、ビデオは常にリージョンまで拡大されます。ただし、リージョンが仕様の範囲外の場合は表示されないことがあります。非ビデオの場合、コンテンツはスケールダウンされます(イメージとウィジェットはリージョンに合わせてスケールリングされ、縦横比が維持されません。外部 URL はリージョンに合わせてスケールリングされます)。この機能では、非ビデオのコンテンツは、リージョンのサイズを超えてはみ出さないようにスケールダウンされます。

制限: コンテンツがリージョンに対して小さすぎる場合はスケールアップできます(ビデオのみ)。

ベストプラクティス: コンテンツの解像度をリージョンの解像度に合わせます。

## ビデオコンテンツのガイドライン

Cisco Vision Dynamic Signage Director でビデオコンテンツを導入する際は、次のガイドラインに従ってください。

- ビデオファイルのサイズはさまざまです。ファイルの最大サイズは 4 GB です。
- ビデオコンテンツが「[サポートするビデオとオーディオの形式\(31 ページ\)](#)」に記載されている要件を満たしていることを確認してください。
- SV-4K または CV-UHD の HDMI-In ポートにデバイスを接続する場合、HDCP をサポートするコンテンツをストリーミングするときはデバイスをテストしてください。ほとんどの Mac OS と Windows ラップトップは、コピー保護されていないコンテンツの HDMI-In エンコーディングと動作互換があります。これがサポートされるかどうかは、デバイスの製造元と OS によって決まります。
- 両方のビデオリージョンでのマルチキャストビデオまたはローカルに保存されたビデオの使用はサポートされていますが、各ビデオリージョンにはマルチキャストビデオとローカルに保存されたビデオの組み合わせ(または両方もローカルビデオ)の使用をお勧めします。

## ビデオ コンテンツのガイドライン

- 最適なパフォーマンスを得るため、メディア プレーヤーでのローカル ビデオの再生については固定ビット レート (CBR) を使用してください。可変ビット レート (VBR) も使用できますが、同期ビデオ再生は品質が損なわれる場合があります。
- 描画されるビデオ リージョンと同じサイズのビデオ コンテンツを作成します。これにより、ビデオの不要なスケールリング (拡大縮小) が回避されます。
- すべてのローカル ビデオ コンテンツのオーディオトラックは、48 kHz でサンプリングされること。
- すべてのローカル ビデオ コンテンツは、(無音でオーディオ ソースがない場合でも) オーディオ PID を含むこと。
- ビデオ表示の最適化のため、インターレースではなくプログレッシブ ビデオ モードを使用すること。

## 4K ビデオ コンテンツの場合におけるその他のガイドライン

- [4K ビデオ コンテンツのベスト プラクティス\(54 ページ\)](#)
- [4K ビデオ コンテンツの制限\(54 ページ\)](#)

### 4K ビデオ コンテンツのベスト プラクティス

SV-4K メディア プレーヤーのための 4K 解像度のビデオ コンテンツを用意する前に、次のベスト プラクティスを考慮してください。

- いずれかのテンプレートをネイティブ 4K ビデオに対して使用する際は、すべてのコンテンツ/リージョンを HD 1920x1080 で設計すること。4K ビデオで表示されるイメージ コンテンツは、3840x2160 のキャンパス サイズに自動的にサイズ変更 (等比拡大) される。

Cisco Vision Dynamic Signage Director のいずれかのテンプレートにおいてプライマリ ビデオ リージョンを使用することにより、4K ビデオを Ultra HD 解像度 (3840x2160) で表示できます。

### 4K ビデオ コンテンツの制限

4K 解像度のビデオ コンテンツを準備する前に、次の制限事項を考慮してください。

- 4K 解像度のビデオ コンテンツは SV-4K および CV-UHD の DMP でのみサポートされます。
- H.264 ビデオ エンコードはサポートされていません。コンテンツ作成ツールが H.265 エンコードをサポートしていることを確認してください。
- HDMI-In ストリーミングによる 4K 解像度ビデオはサポートされていません。
- デュアル 4K ビデオ リージョンの表示はサポートされていません。
- 4K ビデオ リージョンは、プライマリ ビデオ リージョンのみで再生してください。セカンダリ ビデオ リージョンは、最大で HD (1920x1080) のビデオ解像度をサポートします。
- Luma キーを 4K ビデオ コンテンツに適用することはできません。Luma キーイングは、プライマリ リージョンの 4K ビデオに重ねたセカンダリ リージョンの HD ビデオが Luma キーを使用する場合にのみ、デュアル ビデオでサポートします。
- Cisco Vision Dynamic Signage Director の画面テンプレート エディタでは、すべてのリージョン サイズが HD 1920x1080 のキャンパス サイズに基づいて提示されます。4K ディスプレイを使用する場合は、Ultra HD のサイズ (3840x2160) に基づくテンプレートを設定しないでください。
- 4K ディスプレイを使用する場合は、TV ディスプレイ仕様の sv4k.videoMode シリアル コマンドで 3840x2160x60p の固定解像度の値を設定してください。

TV ディスプレイの解像度を指定する方法の詳細については、『[Cisco Vision Dynamic Signage Director 操作ガイド](#)』の「コントロール パネルのディスプレイの指定での解像度の設定」を参照してください。